

# きらり

記事内容

- ☆支部長挨拶
- ☆2023年度活動報告
- ☆特別寄稿 福井謙先生  
「ACPと郡山市わたしの未来ノート」
- ☆2024年度活動計画
- ☆2023年度郡山支部役員紹介

発行 2024年3月  
発行所 福島県看護協会  
郡山支部  
発行者 郡山支部長  
阿部 初江

## 郡山支部長挨拶

福島県看護協会郡山支部 支部長 阿部 初江



令和5度は新型コロナウイルス感染症が5類になり、支部のイベントや関係機関との会議は通常開催となりました。社会は、高齢化率の増加・生産年齢人口の減少という状況下にあります。そこで当支部としては、しっかりと保健・医療・介護・福祉等関係機関との連携を推進して参ります。

例年開催している「看護管理者懇談会」では、郡山市SDGs「全世代健康都市圏創造事業」について教えて頂き、EBMの取り組みに感銘したと同時に、福島県立医科大学との共同研究による郡山市の健康課題では、ワースト結果が多いことに驚きました。

福島県の塩分摂取量は男性ワースト1位、女性ワースト2位、乗用車保有数の多さは全国で8位で一日歩数は全国比でかなり低い結果です。当支部では微力ながらも健康寿命の延伸を目指して、「まちの保健室」で、運動と減塩の推奨・握力測定とフレイル予防の保健指導に尽力しました。「まちの保健室」は、学校の保健室を地域で行うイメージで、地域の方に気軽に立ち寄って頂き、健康に関する相談を受けたり、出張して健康教室等を行います。

また意思決定支援研修会ではACPのテーマで、100名を超える多くの参加者と共にACPの理解を深めました。ACPを行うことは、「もしものとき」に自身の声を伝えることができる、かけがえのないものとなります。意思決定が困難な高齢者や障がい者の人権擁護という本質に留意しながら、「わたしの未来ノート」(郡山版エンディングノート)の普及に取り組んでいるところです。

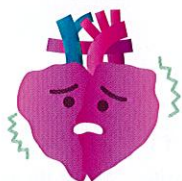
郡山支部活動は看護協会ホームページに掲載していますので、ご覧下さい。社会のニーズに合わせて、地域に根差した支部活動に努めて参ります。看護する喜びを感じて、私たち看護職から「看護の魅力」を発信していきましょう。



# 2023年郡山支部活動報告

## 健康教室

- 5月29日(月) 健康教室「フレイル予防サロン」 中央公民館
- 6月5日(月) 健康教室「心不全ってどんな病気」 中央公民館
- 6月29日(月) 健康教室「笑いヨガで糖尿病対策」 中央公民館



## ふくしま看護の日イベント

6月17日(土) 会場 看護協会会館みらい  
 中学生および保護者を招いて、6つのブースで楽しく看護体験、笑顔いっぱいの日でした。



## 出前講座

- 6月30日(金) 福島県立郡山商業高等学校 3年生
- 7月12日(水) 福島県立郡山商業高等学校 1年生
- 7月21日(金) 福島県立郡山東高等学校 3年生





## 看護管理者懇談会

8月24日(木) 会場 看護協会会館みらい

講師：郡山保健所健康政策課の山口多美子課長補佐 福島県看護協会の佐藤博子会長

テーマ：地域の健康課題解決を目指して

講和とグループワークを通して、郡山市の健康課題、看護職の役割について話し合いました。



## 福島県総合消防訓練

8月26日(木) 会場 郡山市カルチャーパーク

関係団体、市民、総勢2,000人が参加、福島県看護協会からは郡山支部から4名参加、多くの方々と活動を共にし、災害対策時の関係づくりの大切さを感じた活動でした。





## 共通研修会

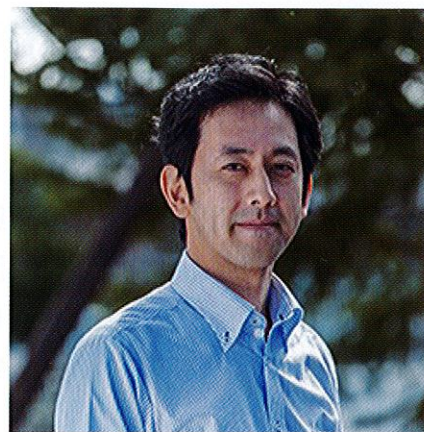
テーマ：事前指示書のあり方について  
～郡山版エンディングノートの活用に向けて～

講師：福井 謙先生 モミの木クリニック院長

日時：2024年9月12日（火）14：00～15：30

会場：星総合病院 メグレスホール

参加者：会場 59人 Web 41人 計 100人



### 参加者の声

- ・講師が「今日私が伝えたいこと」を始めに話され、講師の意図、研修の意義を全員で共有できた。
- ・自分の意見をスマホで入力し、スクリーンに映す出すという方法により、全員がお互いの意見を知り、共感し合った。次々と意見が入力され、先生が読み上げた。会場参加者全員が入力したと思われた。
- ・「エンディングノートの活用」について、「看護師の役割であると思う」、「看護師が患者さんの状況を確認して説明するのが適切である」、「研修内容を職場のスタッフに伝え取り組みたい」、といった積極的な意見が多かった。

終了後のアンケートも、直ぐに多くの方が入力され、94%が満足したと回答していました。

## 講師寄稿

### 「ACPと郡山市わたしの未来ノート」

令和5年9月12日に星総合病院のメグレスホールにて「郡山市わたしの未来ノート（以下、未来ノート）」についてお話しさせていただきました。

未来ノートは令和5年8月に郡山市で発行されたものですが、作成の過程で看護協会さんやそのほか多くの医療・介護関係団体の代表の方々にお手伝い頂きました。素晴らしい内容にまとまったと思っています。この未来ノートは皆さんもご存じのACP（アドバンス・ケア・プランニング）を実用化するためのツールだと思って下さい。ではどう実践するか。キーワードは“対話”です。

対話とは「目的をもった双方向の会話」です。目的のない雑談でもなく、一方的に話すだけのIC（インフォームドコンセント）でもありません。

対話にはまず“聞く力”が必要です。相手をよく知る必要があります。そして聞き手の“私が自身を振り返る”ことや“私自身を語る”ことも大切だと思います。そんな対話は私たちの医療現場ではあまり重視されていないのではないのでしょうか。

未来ノートを使って患者と対話を始めてみましょう。未来ノートには患者の過去の話や今思っていること、医療的な事、将来のペットやお墓についても書いてあります。最後には事前指示書もあり、あえて事前指示書から話を始めても良いと思います。合いの手を入れつつ話した内容をノートに書き込みながら、患者の価値観を探ってみましょう。

未来ノートはまだ発行して間もないため、まだ十分に認知されていませんが、ぜひ皆さんも実際に使用してみてください。そして郡山市にACPを普及させましょう！



# 2023年度活動報告 看護研究発表会

2024年2月15日（木） 時間：13:30～16:00 場所：星病院メグレスホール  
参加人数：70名（会場61名・web9名）

発表演題	施設名	発表者
1. 認知症患者の口腔ケア — 介入に抵抗のある患者への関わり —	あさかホスピタル	横山 麻美
2. お薬カレンダーを用いた服薬管理 — 自己管理インシデントをなくす取り組み	南東北第二病院	藤島 みき
3. 外来看護師の学習ニーズと個人要因及び環境要因との関連性	寿泉堂総合病院	小林 円香
4. 高齢透析患者の半構成的インタビューからの学び — 導入期から維持期までの「葛藤」の理解 —	寿泉堂クリニック	堀井 美幸
5. RRS発動における看護師の困惑 ～ 看護師経験年数や経験部署が与える影響調査を通して ～	星総合病院	遠藤 瑠奈
6. 急性期病棟におけるデイケア活動の効果と今後の課題	総合南東北病院	猪俣 裕子
7. 尿路ストーマオリエンテーションのシステム作り — 泌尿器外来・病棟看護師のストーマケアの統一を目指して —	星総合病院	齋藤 敦己
8. ウィズコロナ社会における出産準備支援方法の検討	寿泉堂総合病院	岡部 瑞穂
9. 訪問看護サマリーのフォーマット化 — 病院との連携を目指して —	あさかホスピタル	成田 朋子

講義 テーマ：「看護研究をちょっとやってみた」

講師：公益財団法人 星総合病院 ポラリス保健看護学院 副学院長 渡辺美保子 先生

## 審査・表彰 受賞者の皆様めどうございます！

支部長賞 寿泉堂クリニック 堀井 美幸 様

奨励賞 星総合病院 遠藤 瑠奈 様

奨励賞 星総合病院 齋藤 敦己 様



今回は例年より多くの演題がありました。発表後の質疑応答も活発に行われ、学びの時間を共有することが出来ました。渡辺美保子先生の講義は具体的で、今後の研究への意欲につながり、講義後に熱心に質問されている方々もおりました。

アンケートの結果では、時間帯については良いが93.8%、進行については良いが96.9%、内容については満足したが93.8%、開催形式についてはハイブリットが良いが84.4%でした。」皆様の声を次年度に活かしてまいります。





「ま ち の 保 健 室」は、日本看護協会が推進する「地域における新たな看護支援システム」のモデル事業として行われる、少子高齢社会型の看護職による地域での新たな健康課題への取り組みです。

郡山支部における「ま ち の 保 健 室」は、13名の地域看護委員がその役割を担い、健康や生活に不安を抱える住民が地域で安心して健やかな生活を送れるよう、自分の健康について振り返り、気軽に相談できる場として開設しています。

今年度は、第1回を9月2日(日)ザ・モールにおいて、第2回を10月29日(日)「ファミリーフェスタ2023」で、第3回を11月12日(日)橘公民館文化祭で開催しました。

今回、「ファミリーフェスタ2023」での「ま ち の 保 健 室」の様子と利用された住民を対象にアンケート調査を行ったので報告いたします。

「ファミリーフェスタ2023～みんなで考えよう！子育て・健康・福祉の輪」は、福祉・健康・介護に関する情報を一堂に集め、子どもから高齢者まで様々な世代の方が福祉について楽しく理解していただくことを目的としたイベントで、3年ぶりの集合型の開催となりました。

そのため来場者は幼稚園生から高齢者まで、様々な世代の方がスタンプラリーのような形で参加し、子ども連れの若い世代の方の参加も多く、大盛況でした。



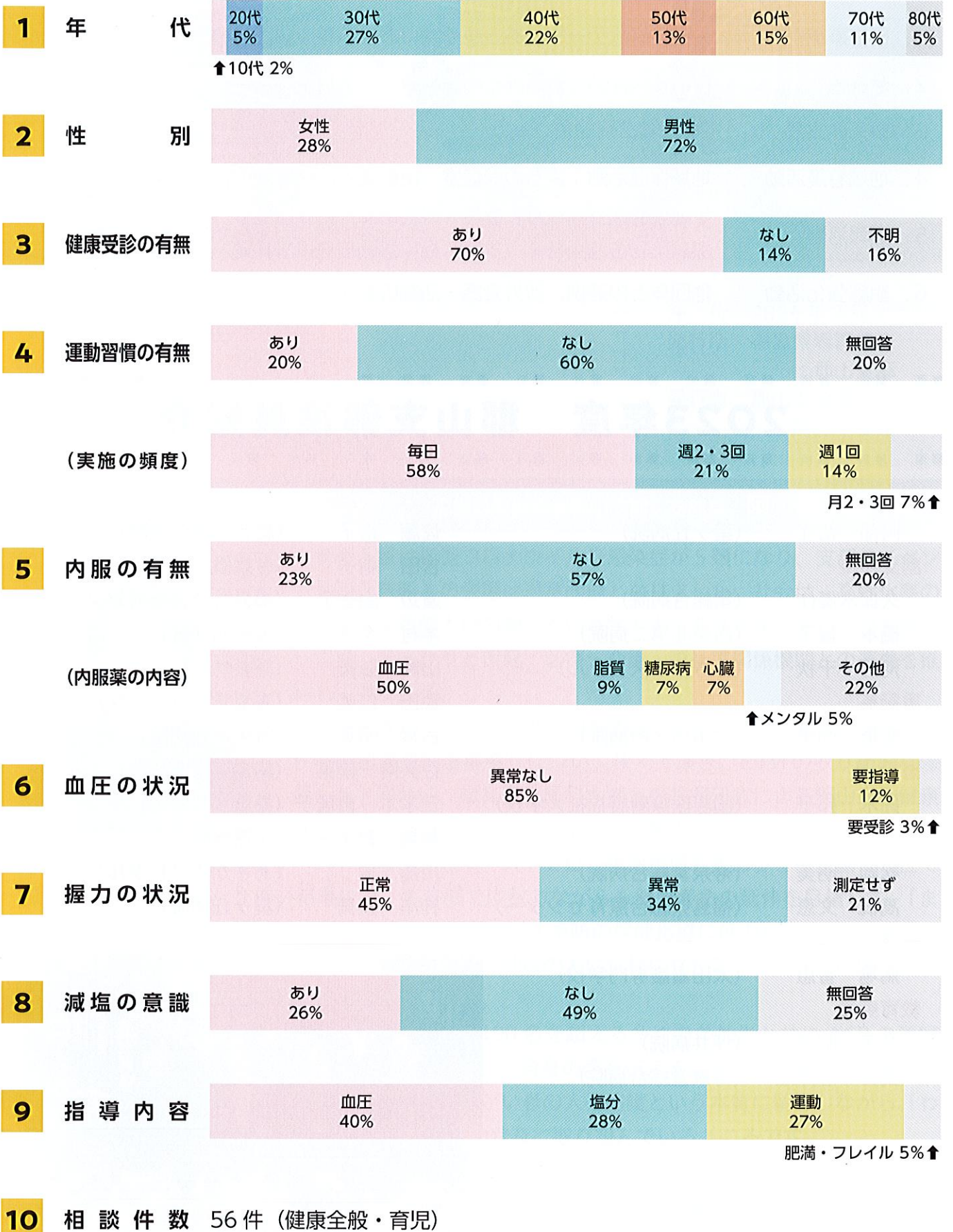
「ま ち の 保 健 室」には141名が来場されました。血圧測定・握力測定を行い、必要な健康指導を行いました。また、健康相談にもゆっくり応じたかったのですが、行列ができるような状況であり、残念でしたが短時間にせざる得ませんでした。相談内容は、服薬や運動習慣に関するものがほとんどでした。

アンケートは、来場者の方々に記入を依頼し、無記名自記式質問紙法で回答をしていただきました。結果をグラフに示しました。





# ファミリーフェスタ 2023 「まちの保健室」 141名のアンケート結果





# 2024年度 事業計画

1. 研修事業	共通研修 テーマ：あらゆる場における意志決定支援
2. 懇談会	自治体保健師と看護師との懇談会 7月予定
3. 研究発表会	2025年2月開催
4. 地域看護活動	地域保健活動：まちの保健室 出前講座 看護の日支援事業
5. 広報活動	支部広報誌『きらり』発行 福島県看護協会HP 支部活動に活動の様子を掲載
6. 組織強化活動	他団体との連携、渉外会議・活動の参加

# 2023年度 郡山支部役員紹介

## 支部長

阿部 初江 (星ヶ丘病院)

## 副支部長

久保木優佳 (星総合病院)

橋本 智子 (南東北第二病院)

河野 千秋 (あさかホスピタル)

## 書記長

宗形 明子 (太田西ノ内病院)

## 書記

鈴木 邦子 (国際医療看護福祉大学校)

## 会計

松岡 明美 (寿泉堂総合病院)

高橋 文恵 (福島県総合療育センター)

## 教育委員長

馬場 智恵 (太田看護専門学校)

## 教育委員

今泉 昭子 (坪井病院)

荒井 志津江 (寿泉堂総合病院)

## 地域看護委員長

佐藤 裕子 (総合南東北病院)

吉田 純子 (今泉眼科病院)

渡辺 由香里 (福島県総合療育センター)

木村 夕子 (今泉西病院)

山崎 弘美 (坪井病院)

添田 仁美 (寿泉堂クリニック)

古宮 明美 (針生ヶ丘病院)

佐久間 優菜 (総合南東北病院)

三本木 真理子 (桑野協立病院)

藤橋 智恵子 (土屋病院)

川島 舞 (あさかホスピタル)

神尾 友美 (星ヶ丘病院)

